

第8回

佐賀県伝承芸能祭

SAGA DENSHOU GEINOU

継ぎの世代へ。



記録集

2025.11.16日 10:00-16:00 佐賀市文化会館 大ホール
佐賀市日の出一丁目21番10号

主催：佐賀県 文化課 佐賀市城内一丁目1番59号 TEL0952-25-7236

<https://www.saga-denshou.jp/>

第8回佐賀県伝承芸能祭



共催：佐賀新聞社、サガテレビ、エフエム佐賀、佐賀市文化振興財団

後援：朝日新聞社、共同通信社佐賀支局、時事通信社佐賀支局、毎日新聞佐賀支局、西日本新聞社、読売新聞西部本社、NHK佐賀放送局、NBCラジオ



つなぎ、輝く、佐賀の思い

佐賀県

© 2025 Saga Prefecture.

記録集刊行に寄せて



佐賀県知事 山口 祥義よしのり

「継ぎの世代へ」

第8回佐賀県伝承芸能祭を、県内各地の伝承芸能団体の皆様ならびに関係者の皆様のご協力により、盛会のうちに終えられましたことに感謝申し上げます。

また、特別出演として各神楽団の精鋭メンバーによる素晴らしい演舞を披露していただきました広島県安芸高田市の皆様にも心より御礼申し上げます。

出演団体の皆様におかれましては、この伝承芸能祭に向けて何か月も前から入念な準備を積み重ねてこられました。創意工夫を凝らした演出で「魅せる」舞台を披露してくださった演者の皆様のことを大変誇りに思います。

今回のステージでは、それぞれの団体で長きにわたり団体を引っ張ってきた先輩方が若い演者を支えるシーンが随所で見受けられました。

知事賞を受賞したみやき町の綾部八幡神社奉納行列浮立は、初出場とは思えないほど堂々とした勇壮な演舞でした。5年前に綾部八幡神社で中原浮立保存会の皆様とお会いした際、優秀な後継者が育ってきていると伺っていて、今回その若い世代が成長し躍動する姿を目の当たりにすることができたことを、大変嬉しく、また頼もしく思います。

佐賀の伝承芸能が新しい時代に受け継がれ、さらに素晴らしいものになると大きな期待を抱いた一日となりました。観客の皆さんも、伝承芸能を「つなぐ」演者の熱気が伝わりその「志」を感じることができたのではないのでしょうか。

「挑戦なくして伝統なし」

これからも、地域の想いをつなぎ挑戦を続ける人々を応援していきます。

伝承芸能は世代を超えて人々をつなぐ力となる地域の「宝」です。このふるさとの誇りをみんなで大切に守り、未来へつないでいきましょう。

プログラム

10:00～	開会	
10:10～	<small>た ら こうこう かぐら</small> 太良高校神楽 (演目: <small>おおお</small> 大魚伝説)	[太良町]
10:35～	<small>はがくれ たいこ</small> 葉隠太鼓	[佐賀市]
10:55～	<small>あや ベ はちまんじんじゃほうのうぎょうれつ ふりゅう</small> 綾部八幡神社奉納行列浮立	[みやき町]
11:20～	<small>はまさき ぎ おんやまばやし</small> 浜崎祇園山囃子	[唐津市]
11:50～	休憩	
13:00～	<small>あ き たか た かぐら</small> ひろしま安芸高田神楽 (演目: <small>もみじがり</small> 紅葉狩)	[広島県安芸高田市]
13:50～	<small>おんせん くめん ぶりゅう</small> 温泉区面浮立	[嬉野市]
14:10～	<small>こうのえ たいこ ふりゅう</small> 神辺の太鼓浮立	[白石町]
14:30～	<small>きんろ じんじゃ し しまい</small> 琴路神社の獅子舞	[鹿島市]
15:00～	<small>さ とうかず や</small> 「佐藤和哉」スペシャルライブ	
15:25～	表彰式	
16:00	閉会	

た ら こう こう かぐ ら
太良高校神楽 演目: ^{おおうお}大魚伝説

太良町



■ 団体名 佐賀県立太良高等学校

■ 所在地 太良町



■ 芸能の概要（由来・沿革）

太良高校では、2021年から毎週金曜日の選択授業の一つとして「神楽」を取り入れている。講師には、嬉野市を拠点に活動する「佐賀神楽団」を迎え、令和7年度は1年生4名、2年生6名、3年生6名の計16名が神楽を学ぶため、演奏・演舞の練習を行っている。

「神楽」は、太鼓や笛などの囃子と一緒に、華やかな衣裳や神楽面をつけた舞手が、物語を題材にして舞う演劇的かつ大衆的な娯楽に限りなく近い芸能であり、太良高校では、広島県北部の芸北地域に250年以上受け継がれてきた、演劇性が強く極めて大衆的でのびのびとした「芸北神楽」をもとに、地域に伝わる物語等を取り入れながら、“佐賀ならではの”の新しさを創造しようとしている。

今回の演目は「大魚伝説^{おおうお}」。令和6年に太良高校オリジナルとして創作された演目で、「大魚神社の海中鳥居・千乃灯籠祭」をはじめとする地域行事で披露されてきた。物語の舞台は、太良町栄町に鎮座する大魚神社。その由来となる伝説をもとに構成されている。

■ 演目「大魚伝説」あらすじ

江戸時代、太良の地に私腹を肥やす代官がおり、困り果てたその土地の住民たちは懲らしめてやろうと、代官を沖ノ島に置き去りにする一計を企てる。沖ノ島で住民たちの宴に酔いしれる代官は、気づけば住民たちはおらず、潮が満ち島からは出られなくなる。

その様子に気付いた海神（大魚）は海を荒らす盗賊だとこれを討とうとするが、代官の必死の弁明により刃を収める。海神は代官が心を改める事を条件に島から出る手助けを提案し、代官もこれを了承。

置き去りにしたはずの代官が無事に戻ってきた事に驚いた住民たちは処罰を覚悟するが、代官は海神との約束を守りこれを不問とし、守り神として海神を奉る事と、この地の繁栄を誓う。



は がく れ たい こ
葉 隠 太 鼓

佐賀市

NHK 佐賀放送局局長賞



- 団体名 葉隠太鼓保存会
- 所在地 佐賀市東佐賀町
- 奉納場所 牛嶋天満宮境内
- 奉納日 [初打ち] 1月3日 [秋季大祭] 11月上旬



■ 芸能の概要（由来・沿革）

1975年に発足し今年50年目を迎える葉隠太鼓保存会。地元で長年途絶えていた「太鼓浮立」を復活させるため、佐賀市東佐賀町の牛嶋天満宮にて有志により結成された。「葉隠太鼓」と命名したのは、佐賀を発祥とする「葉隠」の尊い教えを後世に伝え、その活力を太鼓に活かすため。

1983年には、子供葉隠太鼓を創設。当初は葉隠太鼓保存会の活動に興味を持った地元の子どもたちで構成されていたが、現在は地域を問わず、幼児から高校生（3歳～18歳）までが所属し、指導と育成に努めている。

保存会では、安政五年（1858年）と記された江戸時代末期から受け継ぐ太鼓を所有。伝統と歴史のある太鼓を中心に、面浮立の鬼面をつけて演奏するのが特徴の一つで、趣向を凝らした郷土芸能として親しまれている。曲は、昔ながらの太鼓の良さと現代の感性を組み合わせ、幅広い世代に楽しんでもらえるように日々精進している。

創設当初より、親子・きょうだい・親戚等での入会が多く、数年前からは「親子太鼓」と名付け、親子で太鼓を楽しんでもらう活動をスタート。今回の伝承芸能祭でも、数組の親子が揃って演奏を披露。



あや べ はち まん じん じゃ ほう のう ぎょう れつ ふ りゅう
綾部八幡神社奉納行列浮立

みやき町

佐賀県知事賞、佐賀市文化振興財団理事長賞



- 団体名 中原浮立保存会
- 町指定重要無形民俗文化財
- 所在地 みやき町大字原古賀
- 奉納場所 みやき町中原庁舎～綾部八幡神社
- 奉納日 秋分の日



■ 芸能の概要（由来・沿革）

みやき町中原校区の綾部八幡神社に伝わる行列浮立で、1598年佐賀藩の藩祖・鍋島直茂公の命により始まったとされており、毎年秋分の日で開催されている。行列は午前11時にみやき町中原庁舎を出発して町内を練り歩き、午後3時30分ごろ綾部八幡神社に到着して境内で奉納を行う。

大名行列を思わせる浮立の先頭は、露払いの役割がある挟箱で、以前は場所代を支払わない参道の露店を弾き飛ばしていたという。続くのは、“しゃーの毛”と呼ばれる毛槍を持った人々で、長さ4.5mの毛槍を所作にあわせて振ると、打ち手が吊り上げられるほどの重さとなる。明治23年頃までは「投げ浮立」といって毛槍を投げ合い、その距離が遠ければ、力自慢・腕自慢としてもてはやされたそうだが、現在は、毛槍を受け損じる危険があるため行われていない。

太鼓や鉦が打ち鳴らされ、かけ声は「ヨイヤーサ」。笛は太鼓にあわせ、横笛による音色と伝統の小謡で祭りを盛り上げる。浮立は、太鼓に始まり太鼓に終わるためその役割は大きく、太鼓の上にある布団は、太鼓を打ち損じた際に責任をとって切腹するときの用意として運ばれていると伝わっている。

綾部八幡神社は風の神様をまつる神社。観覧の皆様にも良き風が吹くように、今回は総勢65名がステージを飛び出し、観客席を練り歩いて中原の地の誇りである行列浮立を披露。



はま さき ぎ おん やま ばやし
浜崎祇園山囃子

唐津市

エフエム佐賀社長賞



- 団体名 浜崎祇園山笠振興会
- 市指定重要無形民俗文化財
- 所在地 唐津市浜玉町
- 奉納場所 須賀神社（祇園社）
- 奉納日 7月海の日直後の土日



■ 芸能の概要（由来・沿革）

浜崎祇園山笠は、唐津市浜玉町浜崎の諏訪神社内の須賀神社にまつられている祇園社の祭礼として、毎年7月、海の日直後の土日に奉納。起源は定かではないものの、江戸時代中期の1753年に漁師の網元・中村屋久兵衛が疫病退散、五穀豊穡を祈念して、博多櫛田宮の祇園山笠を模した巨大な山笠3台を造ったのが始まりとされている。

3台の山笠は、浜区（漁師）、西区（農家）、東区（商人）の山笠として今日まで継承され、大漁・豊作・商売繁盛を祈って町内を練り歩く。山笠は高さ15m、重さ5tを超える全国最大級の大きさで、屋形や人形で豪華絢爛に飾り付けられている。祭りのクライマックスは、夜に神社境内で山笠を何度も旋回させる「おおまざり」で、見る者を圧倒させる。

今回のステージでは、浜組囃子方が山笠と一緒に奉納する山囃子を披露。楽器は太鼓、鉦、笛、三味線で、笛は竹の皮を貼った竹紙笛の明笛。他のお囃子では見られない、三味線が加わるのも特徴的。優雅で艶がありながらも、力強い浜崎祇園の山囃子は、曲名は似ていても地区によって旋律や笛の音色が異なっている。それぞれ13曲ほどが伝わっているが、いつ頃発祥して伝えられてきたかは記録に残っていない。巨大な山笠のインパクトで隠れがちだが、優美で荘厳な山囃子と、囃子を盛り上げる曳き手による威勢がよい掛け声や合いの手も浜崎祇園山笠の魅力の一つである。



特別出演

あきたかたかぐら
ひろしま安芸高田神楽 演目:紅葉狩 もみじがり

広島県安芸高田市



■団体名 安芸高田神楽協議会

■所在地 広島県安芸高田市



■ 芸能の概要（由来・沿革）

神楽とは、太鼓や笛などの囃子と一緒に、華やかな衣装や神楽面をつけた舞手が、物語を題材にして舞う芸能のこと。その語源には諸説あるものの“神様を楽しませる”ことが目的で、氏神様に奉納する神事として執り行われ、今日では催事や祝い事に欠かせない郷土芸能として人々に親しまれている。

とくに、ひろしま安芸高田神楽は、分かりやすいストーリー性や豪華絢爛な衣装、お面など、初めて見る人も楽しめる要素が盛りたくさん。

広島県安芸高田市は神楽が盛んな地域で、22の神楽団が活動し、それぞれが仕事や学業の傍ら、練習や公演を行っている。また、市内にある神楽門前湯治村では、年間を通して約150回の定期公演を実施しており、地域の郷土芸能として人々に親しまれている。

今回集まったメンバーは、市内の各神楽団から選りすぐられた20名で、令和7年5月と7月には大阪・関西万博のステージでひろしま安芸高田神楽を披露。

今回の演目は「紅葉狩」。紅葉が美しい秋の山を舞台に繰り広げられる演目で、姫達の美しい妖艶な舞から、正体を現して鬼女となり、段々と激しい舞になっていく様子が見どころ。若い舞手が多いため、躍動感あふれるエネルギッシュな舞で会場を盛り上げた。

■ 演目「^{もみじがり}紅葉狩」あらすじ

平安時代の中ごろ、狩野の旅に出た信濃の守・中納言平維茂^{たいらのこれもち}は、艶やかに色づいた紅葉に心を奪われ、山奥深く分け入り、道に迷ってしまう。

紅葉狩の酒宴を開き、待ち受けていた戸隠山の鬼女たちは維茂と従者を宴に誘う。誘われるまま宴の客となり酔い伏した維茂らを前に、鬼女たちは正体を現し、取り食らおうとするが、維茂が日頃より信心する八幡大菩薩が現れ、鬼女を追い払うと共に維茂らを目覚めさせ、「神剣」を授ける。そして、正気を取り戻した維茂らは、めでたく鬼女を退治する。



おん せん く めん ぶりゅう
温泉区面浮立

嬉野市

サガテレビ社長賞



- 団体名 嬉野町温泉区面浮立保存会
- 所在地 嬉野市嬉野町
- 奉納場所 豊玉姫神社
- 奉納日 豊玉姫神社のお供日（4年に1度）



■ 芸能の概要（由来・沿革）

嬉野町温泉区に伝わる温泉区面浮立は、4年に一度、白磁のなまずが境内に鎮座する、豊玉姫神社のお供日（毎年10月最終金曜日（お下り）の翌日）に奉納されている。その起源は不明だが演目は9つあり、神社への奉納で神輿のお供をして境内に入場する際には、露払い役のささらの後に、掛け打（踊り手）の先面（さきめん）を先頭に「奉願道」を舞い踊る。神前にて神様に鬼の力を誇示して戦いを挑む「神の前」、戦いに敗れて鬼が改心して舞う法楽（神様を楽しませること）の「よつばやし」を披露する。その他に「やがみみちばやし」「むらわたし」「おのだけ」「みつがさね」「新浮立」「やたらくずし」の法楽の舞がある。

腰を低く落として踊り、腕を振り、足をあげるなど、激しい体の動きが特徴的で、とても勇壮な舞である。シャグマ（鬼面につけた毛）を振り返し、太鼓を叩いた後の指先までピンと張りつめた感覚の動と静の所作（動き）を演目によって踊り分ける様は必見である。

五穀豊穡、天下泰平、邪気退散を祈って奉納される面浮立は、地域の宝でもあることからその継承のため、子ども面浮立の活動を社会教育、文化・文芸活動の一環として保存会の活動に取り入れ、後継者の育成のために地元の小中学生および園児等が参加。お供日の奉納では大人と一緒に40日間猛練習をし、郷土の芸能である面浮立を地域一体となって継承する仕組みづくりを行っている。



こうのえ たいこふりゅう
神辺の太鼓浮立

白石町



- 団体名 神辺区浮立保存会
- 所在地 白石町須古
- 奉納場所 杵島神社、妻山神社
- 奉納日 9月14日、10月19日



■ 芸能の概要（由来・沿革）

天正の頃、龍造寺隆信が支配した白石町須古地区に鎮座する「妻山神社」、その南方位の小丘には「杵島神社」があり、初代須古邑主の龍造寺信周が祭祀されている。

9月14日の杵島神社合祀の祭典、10月19日の妻山神社の例祭では、須古地区にある15の区により浮立が奉納されている。それぞれの区に浮立が伝わっており、2～3区が輪番制で奉納しているが、近年では単独での伝承が難しい区も増えている。

神辺区浮立保存会も6年に一度、区に伝わる太鼓浮立を奉納している。同保存会は地域の誇りを次の世代に引き継ぐため、子ども浮立の指導に積極的で、福祉施設への慰問活動にも取り組んでいる。

祭りは、地区内を練り歩く「道浮立」から始まり、その後、神社で演目を奉納。

今回のステージでは、「道浮立」と「上浮立」を披露。

「道浮立」は、神社までの道中で奏される演目で、境内に着くと笛の合図で「静」から「動」へ移っていくところは高揚感に包まれ見どころのひとつ。また、祭り当日は夜に奉納されるため、竹竿に灯籠を掲げて進む姿が幻想的。本ステージでも、その雰囲気再現。

「上浮立」には上の句と下の句があり、それぞれを必ず三度ずつ演奏するという独自の決まりが、神辺の太鼓浮立の特徴。演奏ごとに変わる表情やリズムの違いにも注目。



きんろじんじゃ ししまい
琴路神社の獅子舞

鹿島市

佐賀新聞社社長賞



■団体名 南川獅子舞保存会

■県指定重要無形民俗文化財

■所在地 鹿島市納富分

■奉納場所 琴路神社

■奉納日 11月2日・3日



■ 芸能の概要（由来・沿革）

鎌倉時代に建立された琴路神社の例大祭（11月2・3日）で、奉納神事として演舞されている獅子舞。その歴史や起源について詳しいことは不明だが、およそ300年以上の伝統を有するものとして山浦南川区に伝承されている。

特徴的なのは、一般的な獅子舞とは異なり、獅子頭が平たい仮面のような形をしていることで、どことなくユーモラスな表情をしている。赤獅子（雄）が青獅子（雌）を追いかけて、獅子頭を上下左右に激しく動き回す所作から、地元では「あばれ獅子」とも称されている。

獅子舞は2人組で舞う「赤と青の獅子（計4名）」に加え、「獅子釣り（1名）」、「剣使い（2名）」などで構成されている。剣使いは、獅子舞と同じ赤と青の面を被った天狗で、赤天狗が猿田彦、青天狗が烏天狗と伝えられている。

獅子舞は、動作のたびに「あばばばい」という独特の声を出し、威勢のいい掛け声とともに境内を舞い踊る。

神社での奉納が終わると、神輿行列の露払いとして獅子舞も市内を練り歩き、鹿島新町の新宮神社に向かう。獅子舞には道中、家々をまわって災厄を祓う役目もあり、地区の人々は「あばれ獅子」が来るのを毎年心待ちにしている。



スペシャルゲスト



さとう かずや 佐藤 和哉

[篠笛奏者・作曲家]

1981年、佐賀県唐津市生まれ。音楽に没頭する学生時代を経て、大学時代に篠笛が自分の音楽を表現するのに最も適していると悟り、2012年の国宝・薬師寺東塔解体式典での献笛を機に、篠笛奏者の道へと歩み始める。作曲家としても活動し、自身作曲の「さくら色のワルツ」が、ゆずの「雨のち晴レルヤ」のモチーフ曲として採用され、日本レコード大賞優秀作品賞を受賞。このほか、数多くの映画・ドラマなどに音楽で参加。唐津観光大使、嬉野こころ大使も務めている。2022年には活動10周年を迎え、同年リリースしたアルバム『○en』（えん）が、2022年下半期のJAL国際線機内エンターテインメントシステム「MAGIC」の音楽コンテンツに採用された。2024年に佐賀県で開催された国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（愛称：「SAGA2024」）のアスリート応援サウンド「Wow!!」を作曲。笛の音で景色を彩る奏者であり、情景から曲を紡ぐ作曲家として、国内外で広く活動中。

オフィシャルサイト <https://www.kazuyasato.com/>



いway みさき 岩屋 美咲

[タレント]

佐賀県鹿島市生まれ。小学校から高校時代までバレーボール部やテニス部に所属し、活発でスポーツが得意。

西南学院大学卒業後、証券会社勤務を経て、数々のミスコンテストでグランプリを獲得。生まれ育った佐賀県を心から愛し、佐賀県をPRする活動を多くのメディアやSNSを通じて行っている。

また、サガン鳥栖のファン・サポーターとしても様々な発信を行っている。

はじける笑顔と素直で快活なキャラクターが、あらゆる年代の多くの人々を惹きつけている。タレント・MCとしても活躍中。

・佐賀県広報CM出演中。

・オフィシャルサイト <http://iwayamisaki.office-color.info>

表彰式・エンディング



佐賀県知事賞(綾部八幡神社奉納行列浮立)



佐賀市文化振興財団理事長賞(綾部八幡神社奉納行列浮立)



佐賀新聞社社長賞(琴路神社の獅子舞)



サガテレビ社長賞(温泉区面浮立)



エフエム佐賀社長賞(浜崎祇園山囃子)



NHK佐賀放送局局長賞(葉隠太鼓)



全景



エンディング

出演総覧

- ⑦ 伊万里女みこし い ま り おんな
- ⑦ 伊万里太鼓 い ま り だい こ
- ⑥ 伊万里トントントン い ま り
- ④ 脇野の大念仏 わきの だいねんぶつ
- ②⑤ 府招の浮立 ふねまき ふりゅう
- ①② 至誠龍神 しせいりゅうじん
- ⑦ 大野大黒舞 おおの だいこくまい
- ⑥ 呼子の綱引き よぶこ おおつなひき
- ⑥ 呼子くんち親子鯨 よぶこ おやこくじら
- ⑤⑧ 浜崎祇園山囃子 はまさきぎ おんやまばやし
- ④ 唐津人形浄瑠璃 からつ にんぎょうじゆり
- ④ 唐津くんち曳山囃子 からつ やまばやし
- ② 見借浮立 みるかし ふりゅう
- ① 鯨唄 くじらうた

- ⑦ 腰鼓 ようこ
- ① 萩菜の舞 せきさい まい

- ⑦ 十八夜 じゅうはちや
- ① 曲川浮立 まがかわ ふりゅう

- ⑤ 立野川内浮立 たてのかわち ふりゅう
- ①⑥ 鳥海浮立 とのみ ふりゅう

- ②③ 大町聖太鼓 おおまちひりだいこ

- ⑤ 今寺面浮立 いまでらめん ふりゅう
- ③④⑧ 温泉区面浮立 おんせんくめん ふりゅう
- ③④ 不知火太鼓 しらぬいだいこ
- ② 下岩屋猿浮立 しもいわやざる ふりゅう

- ⑦ 行成面浮立 ゆきなりめん ふりゅう
- ⑥ 鹿島市小学生面浮立演舞 かしまししょうがくせいめん ふりゅうえんぶ
- ⑤ 執行分鉦浮立 しぎょうぶんかね ふりゅう
- ④ 松岡神社の獅子舞 まつおかじんじや ししまい
- ④ 浅浦の面浮立 あさうらめん ふりゅう
- ③⑤ 嘉瀬ノ浦獅子浮立 かせのうらしし ふりゅう
- ②③⑧ 琴路神社の獅子舞 かんなろじんじや ししまい
- ② 音成の面浮立 おとなしめん ふりゅう
- ① 母ヶ浦面浮立 ほろがうらめん ふりゅう

特別出演 (県外)

- ⑧ ひろしま安芸高田神楽 (広島県安芸高田市・合同神楽団) あきたかたかぐら
- ⑦ ひろしま安芸高田神楽 (広島県安芸高田市・吉田神楽団) あきたかたかぐら
- ⑦ 枕崎火の神太鼓 (鹿児島県枕崎市・枕崎火の神太鼓保存会) まくらぎひ かみだいこ
- ⑥ エイサー (沖縄県沖縄市・中の町青年会) なか まちせいねんかい
- ⑤⑥ ひろしま安芸高田神楽 (広島県安芸高田市・八千代神楽団) あきたかたかぐら
- ③⑥ ひろしま安芸高田神楽 (広島県安芸高田市・桑田天使神楽団) あきたかたかぐら
- ② ひろしま安芸高田神楽 (広島県安芸高田市・錦城神楽団) あきたかたかぐら
- ② 長崎龍踊り (長崎県長崎市・長崎女子高等学校龍踊部) ながさきりゅうおど
- ①④⑥ ひろしま安芸高田神楽 (広島県安芸高田市・原田神楽団) あきたかたかぐら





特別出演 (県内)

④⑤⑦ 佐賀神楽 (嬉野市・佐賀神楽団)

- ① 第1回 (平成30年度) 出演
- ② 第2回 (令和元年度) 出演
- ③ 第3回 (令和2年度) 出演
- ④ 第4回 (令和3年度) 出演
- ⑤ 第5回 (令和4年度) 出演
- ⑥ 第6回 (令和5年度) 出演
- ⑦ 第7回 (令和6年度) 出演
- ⑧ 第8回 (令和7年度) 出演

佐賀県伝承芸能祭 受賞団体一覧

第1回 日程：平成30年10月8日(月・祝) 場所：佐賀市文化会館大ホール 出演団体数：県内15団体

受賞名	演目	団体名	市町
佐賀県知事賞	とのみふりゅう 鳥海浮立	とのみふりゅう ぼんかい 鳥海浮立保存会	武雄市
佐賀新聞社社長賞	そねぎまのししまい 曾根崎の獅子舞	そねぎまのししまい ぼんかい 曾根崎町古典芸能保存会	鳥栖市
サガテレビ社長賞	あぶらつふりゅう 油津浮立	あぶらつふりゅう ぼんかい 油津区浮立保存会	太良町
NHK佐賀放送局局長賞	しせいりゅうじん 至誠龍神	いまりのうりんこうがっこうたいこぶ 伊万里農林高等学校太鼓部	伊万里市
感動賞	うらやすまい 浦安の舞	やまぐちくうらやすまい ぼんかい 山口地区浦安の舞保存会	江北町

第2回 日程：令和元年9月23日(月・祝) 場所：佐賀市文化会館大ホール 出演団体数：県内15団体

受賞名	演目	団体名	市町
佐賀県知事賞	きんろじんじかししまい 琴路神社の獅子舞	みなみがわししまい ぼんかい 南川獅子舞保存会	鹿島市
佐賀新聞社社長賞	おおまちひりだいこ 大町聖太鼓	ひりだいこ かい 聖太鼓の会	大町町
サガテレビ社長賞	しゆくかねふりゅう 宿の鉦浮立	しゆくかねふりゅう じつこういんかい 宿町神幸祭実行委員会	鳥栖市
NHK佐賀放送局局長賞	みるかしふりゅう 見借浮立	みるかしふりゅう ぼんかい 見借浮立保存会	唐津市
感動賞	ふまねきふりゅう 府招の浮立	ふまねきふりゅう ぼんかい 府招浮立保存会	伊万里市
感動賞	しもいわやきるぶりゅう 下岩屋猿浮立	しもいわやきるぶりゅう ぼんかい 下岩屋浮立保存会	嬉野市

第3回 日程：令和2年11月23日(月・祝) 場所：佐賀市文化会館大ホール 出演団体数：県内9団体

受賞名	演目	団体名	市町
佐賀県知事賞	しらぬいだいこ 不知火太鼓	しらぬいだいこ 不知火太鼓	嬉野市
佐賀新聞社社長賞	たけざきかんげおんじしゅしょうえおにまつり 竹崎観世音寺修正会鬼祭	たけざきかんげおんじしゅしょうえおにまつり ぼんかい 竹崎観世音寺修正会鬼祭保存会	太良町
サガテレビ社長賞	とがりふりゅう 戸ヶ里浮立	とがりふりゅう ぼんかい 戸ヶ里浮立保存会	白石町
NHK佐賀放送局局長賞	きんろじんじかししまい 琴路神社の獅子舞	みなみがわししまい ぼんかい 南川獅子舞保存会	鹿島市
感動賞	しゆくかねふりゅう 宿の鉦浮立	しゆくかねふりゅう じつこういんかい 宿町神幸祭実行委員会	鳥栖市

第4回 日程：令和3年11月23日(火・祝) 場所：佐賀市文化会館大ホール 出演団体数：県内10団体

受賞名	演目	団体名	市町
佐賀県知事賞	ふじのきししまい 藤木の獅子舞	ふじのきまのししまい ぼんかい 藤木町獅子舞保存会	鳥栖市
佐賀新聞社社長賞	ふくどみだいこ 福富太鼓	ふくどみだいこ ぼんかい 福富太鼓保存会	白石町
サガテレビ社長賞	からつやまぼやし 唐津くんち曳山囃子	からつやまぼやし ぼんかい 唐津曳山囃子保存会	唐津市
NHK佐賀放送局局長賞	おんせんくめんぶりゅう 温泉区面浮立	うれしのまちおんせんくめんぶりゅう ぼんかい 嬉野町温泉区面浮立保存会	嬉野市
エフエム佐賀社長賞	しらぬいだいこ 不知火太鼓	しらぬいだいこ 不知火太鼓	嬉野市

第5回 日程：令和4年10月16日(日) 場所：佐賀市文化会館大ホール 出演団体数：県内10団体

受賞名	演目	団体名	市町
佐賀県知事賞	たてのかわちふりゅう 立野川内浮立	たてのかわちふりゅう ほぞんかい 立野川内浮立保存会	武雄市
佐賀新聞社社長賞	しぎょうぶんかねふりゅう 執行分鉦浮立	しぎょうぶんふりゅう ほぞんかい 執行分浮立保存会	鹿島市
サガテレビ社長賞	はまさきぎおんやまばやし 浜崎祇園山囃子	はまさきぎおんやまかさしんこうかい 浜崎祇園山笠振興会	唐津市
NHK佐賀放送局局長賞	ふまねき ふりゅう 府招の浮立	ふまねきふりゅう ほぞんかい 府招浮立保存会	伊万里市
エフエム佐賀社長賞	うしづしゅくばはなだいこ 牛津宿場華太鼓	うしづしゅくばはなだいこ ほぞんかい 牛津宿場華太鼓保存会	小城市

第6回 日程：令和5年11月19日(日) 場所：SAGAアリーナ 出演団体：県内14団体 表彰実施なし

第7回 日程：令和7年1月26日(日) 場所：佐賀市文化会館大ホール 出演団体：県内8団体

受賞名	演目	団体名	市町
佐賀県知事賞	たかしきょうげん 高志狂言	ちよだちゅうぶしゅうがっこう たかしきょうげんクラブ 千代田中部小学校 高志狂言クラブ	神崎市
佐賀市文化振興財団理事長賞	たかしきょうげん 高志狂言	ちよだちゅうぶしゅうがっこう たかしきょうげんクラブ 千代田中部小学校 高志狂言クラブ	神崎市
佐賀新聞社社長賞	ゆきなりめんぷりゅう 行成面浮立	ゆきなりふりゅう ほぞんかい 行成浮立保存会	鹿島市
サガテレビ社長賞	おおの だいこくまい 大野大黒舞	おおの だいこくまい ほぞんかい 大野大黒舞保存会	唐津市
NHK佐賀放送局局長賞	じゅうはちや 十八夜	おおぎしゅくふりゅう ほぞんかい 大木宿浮立保存会	有田町
エフエム佐賀社長賞	いまりだいこ いまりおんな 伊万里太鼓と伊万里女みこしの共演	いまりたいこ の会・いまりおんな 伊万里太鼓の会・伊万里女みこし華粋会	伊万里市

第8回 日程：令和7年11月16日(日) 場所：佐賀市文化会館大ホール 出演団体：県内7団体

受賞名	演目	団体名	市町
佐賀県知事賞	あやべはちまんじんじやほうのうぎょうれつ ふりゅう 綾部八幡神社奉納行列浮立	なかばるふりゅう ほぞんかい 中原浮立保存会	みやき町
佐賀市文化振興財団理事長賞	あやべはちまんじんじやほうのうぎょうれつ ふりゅう 綾部八幡神社奉納行列浮立	なかばるふりゅう ほぞんかい 中原浮立保存会	みやき町
佐賀新聞社社長賞	きんろ じんじや ししまい 琴路神社の獅子舞	なみがわし ししまい ほぞんかい 南川獅子舞保存会	鹿島市
サガテレビ社長賞	おんせん くめん ぶりゅう 温泉区面浮立	うれしのまちおんせん くめん ぶりゅう ほぞんかい 嬉野町温泉区面浮立保存会	嬉野市
NHK佐賀放送局局長賞	はがくれたいこ 葉隠太鼓	はがくれたいこ ほぞんかい 葉隠太鼓保存会	佐賀市
エフエム佐賀社長賞	はまさきぎおんやまばやし 浜崎祇園山囃子	はまさきぎおんやまかさしんこうかい 浜崎祇園山笠振興会	唐津市

第8回佐賀県伝承芸能祭記録集

編集・発行 佐賀県文化・観光局 文化課
(業務受託者：株式会社佐賀広告センター)

発行日 令和8年3月

本

七亦祭時記

saga saijiki matsuribito

節



matsuribito.jp

題字：江島史織

